

第4章 参加と協働による環境保全への取り組み

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市東沖洲一丁目23番地
面積・施設等機能	1階 事務室 75.75㎡、会議室 16.87㎡ 2階 会議室 45.9㎡ 事務所、会議室、展示スペース、周辺は環境学習のフィールド
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 ・「環境活動実践センター機能」「環境学習サポートセンター機能」、「地球温暖化防止活動推進センター機能」の3つの機能を一箇所に集約して、環境学習サービスのワンストップ化の実現 ・子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境活動実践支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動・環境施策の企画から実践までを幅広く支援。 ・社会実験や実証実験など実践に結びつく調査・研究、環境NPO等の支援・交流
環境学習サポートセンター機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域における環境学習・教育を総合的・体系的に推進するとともに、地域環境力を高めるための人づくりを支援するなど、環境学習・教育を人材・知識面等から総合的にサポート ・とくしま環境学講座等の各種環境関係講座の開催 ・環境関係の図書、DVDソフト、資料、展示パネルの貸出 ・地域や職場、学校での環境に関する講座、セミナー、イベント等に専門的知識を備えた環境アドバイザーの派遣 ・インターネット上のウェブサイト「とくしま環境首都学校」において、県内で実施される各種環境関係イベント、講座等を紹介
地球温暖化防止活動推進センター機能	<ul style="list-style-type: none"> ・本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」「情報提供」「民間団体の活動支援」等を総合的に支援 ・地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 ・家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 ・「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 ※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人 環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の推進

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年2月に策定しました。

この方針に基づき、平成23年度においては次の施策を実施しました。

(1) 環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取り組みに対し、支援を行いました。

県内の8団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成24年2月開催）でその成果を発表しました。

(2) 「学校版環境ISO」認証取得の推進

「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、小・中・高・特別支援学校の児童生徒、教職員が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進しています。

実施校では、児童生徒、教職員がそれぞれの実態に応じた目標を考え、数値的な指標を設定するなど特色ある活動を展開します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成23年度末には、小・中学校、高等学校、特別支援学校を含めて231校が認定を受けて活動をしています。

表2-4-1 平成23年度「学校版環境ISO」認定校

校 種	市 町 村 名	学 校 名
小 学 校 (29校)	徳 島 市	助 任 小 学 校
		津 田 小 学 校
		昭 和 小 学 校
		八 万 南 小 学 校
		加 茂 名 小 学 校
		加 茂 名 南 小 学 校
		千 松 小 学 校
	鳴 門 市	瀬 戸 小 学 校
		明 神 小 学 校
	小 松 島 市	小 松 島 小 学 校
	吉 野 川 市	山 瀬 小 学 校
		川 田 小 学 校
		川 田 中 小 学 校
		川 田 西 小 学 校
	美 馬 市	木 屋 平 小 学 校
	三 好 市	政 友 小 学 校
		吾 橋 小 学 校
		枳 之 瀬 小 学 校
	勝 浦 町	横 瀬 小 学 校
	上 勝 町	上 勝 小 学 校
	石 井 町	石 井 小 学 校
		高 原 小 学 校
		藍 畑 小 学 校
	神 山 町	神 領 小 学 校
	藍 住 町	藍 住 北 小 学 校
		藍 住 南 小 学 校
		藍 住 西 小 学 校
	つ り ぎ 町	半 田 小 学 校
		太 田 小 学 校
中 学 校 (14校)	徳 島 市	富 田 中 学 校
		川 内 中 学 校
		上 八 万 中 学 校
		応 神 中 学 校
		国 府 中 学 校
		北 井 上 中 学 校
		阿 南 第 二 中 学 校
	阿 南 市	伊 島 中 学 校
		市 場 中 学 校

校 種	市 町 村 名	学 校 名
中 学 校	阿 波 市	阿 波 中 学 校
	美 馬 市	岩 倉 中 学 校
		三 島 中 学 校
	勝 浦 町	勝 浦 中 学 校
神 山 町	神 山 東 中 学 校	
高等学校・特別支援学校 (4校)	県 立	城 西 高 等 学 校 神 山 分 校
		阿 波 西 高 等 学 校
		貞 光 工 業 高 等 学 校
		三 好 高 等 学 校

※柘之瀬小学校は東祖谷小学校に統合されました。

(3) エコリーダー養成講座

学校版環境ISOの認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、第1回目は「小学校と連携・融合した「体験型 ふるさとの川環境観察学習会」～学びを活かした「知の循環型社会」の実践活動～」のテーマで環境教育の目的・学校版環境ISO・とくしま環境学習プログラムについて講話を行いました。第2回目は「くらしとごみー（はじめよう3R）」をテーマとして講話を行いました。

(4) 環境教育講座の開催

環境教育の充実に向けて、教員の指導力の向上を図るため、県教育委員会では平成5年度から、環境教育講座を開催し、実践事例の発表や環境教育の内容についての研修などを実施しています。

平成23年度は、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象に、徳島県立総合教育センターにおいて「環境学習プログラムを取り入れた環境教育」についての研修を行いました。

(5) 環境首都あどぷと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えの下、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどぷと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成23年度は中学校1校と地域の事業者3社とが養子縁組の協定を結び、事業者からの人材派遣や教材費等の支援により、地域に根ざした環境学習を効果的に実施することができました。

(6) こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は小中学生なら誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成23年度には県内で33クラブ1,565人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

表2-4-2 平成23年度 こどもエコクラブ登録数

市町村名	クラブ数	メンバー人数	サポーター人数
徳島市	19	975	152
鳴門市	1	23	11
阿南市	5	243	31
吉野川市	1	8	4
阿波市	2	232	30
三好市	1	14	2
牟岐町	1	32	5
美波町	1	1	1
松茂町	2	37	8
合計	33	1,565	244

※「こどもエコクラブ」は、2人以上の仲間（メンバー）と、活動を支える1人以上の大人（サポーター）で構成されます。サポーターは、子どもたちの自主的な活動をあたたかくサポートする高校生以上の方で、高校生はメンバーとしても、サポーターとしても登録することができます。

(7) 佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、そばづくり等の体験、希少動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っております。

表2-4-3 自然観察会等の実施状況

学 習 内 容	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	回 数	参加者数	回 数	参加者数	回 数	参加者数
自 然 観 察 会	65	1,044	47	891	44	740
団 体 等 観 察 会	26	783	26	868	26	848
計	91	1,827	73	1,759	70	1,588

(8) 環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成23年度には35名の方を環境アドバイザーとして任命し、合計55回派遣しました。(表2-4-4)

表2-4-4 平成23年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成23年4月18日	阿南プラザホテル	高齢化問題とエコを繋げた講演	30
平成23年5月16日	吉野川河口干潟	吉野川河口干潟生物研究	166
平成23年5月18日	小松島市総合福祉センター	生活に取入れられる省ネアイデアについて	25
平成23年5月27日	西富田保育所	環境紙芝居とエコ体操	29
平成23年5月30日	城東中学校	吉野川河口干生物観察のポイントなど	300
平成23年6月1日	吉野川河口干潟	吉野川河口干潟生物研究	300
平成23年6月2日	マルワ環境	北島町のゴミ事情とリサイクル学習	13
平成23年6月5日	あすたむらんど徳島	緑のカーテン・ゴーヤの育て方について	30
平成23年6月13日	富岡東中学校	自然との共生を目指して～中学生ができること～	80
平成23年6月29日	徳島市青少年交流プラザ・勝浦川河口	勝浦川干潟の観察	91
平成23年6月30日	徳島市青少年交流プラザ・勝浦川河口	勝浦川干潟の観察	91
平成23年6月30日	脇町高校	大気汚染と放射線の基礎	31
平成23年7月5日	正法寺川	野鳥観察の指導	81
平成23年7月22日	徳島市役所	消費生活と環境	180
平成23年7月26日	立江川	カニの観察	75
平成23年7月30日	鳴門ウチノ海総合公園	太陽光の利用	30
平成23年8月4日	徳島市青少年交流プラザ	勝浦川干潟の観察	30
平成23年8月24日	阿南第2中学校	地球温暖化・エネルギーについて	66
平成23年8月29日	櫛淵小学校	ごみ問題について	35
平成23年9月6日	内町小学校	土作り・循環型社会	29
平成23年9月14日	福井中学校	地球温暖化について	17
平成23年9月14日	徳島中学校	水環境について	170
平成23年9月15日	郡里小学校	地球暖化・マイバック	20
平成23年9月21日	阿南ひまわり会館	ネイチャーゲーム	16
平成23年9月27日	徳島中学校	新町川について	170
平成23年9月27日	徳島中学校	ひょうたん島クルーズ	170
平成23年10月1日	鳴門ウチノ海総合公園	電気の大切さについて	30
平成23年10月6日	山瀬小学校	水生生物と川の汚れについて	51
平成23年10月14日	城東小学校	吉野川干潟の環境保全について	99
平成23年10月18日	総合教育センター	環境教育について	60
平成23年10月21日	徳島市応神中学校	自然エネルギーについて	38
平成23年10月24日	小松島小学校	ごみ問題や環境問題について	28
平成23年11月10日	城東小学校	吉野川干潟について	78

平成23年11月15日	山瀬小学校	川の調査について	51
平成23年11月15日	八万東保育園	ネイチャーゲーム	28
平成23年11月16日	羽浦小学校	地球温暖化防止について	105
平成23年11月18日	新野中学校	地球温暖化防止について	37
平成23年11月22日	西井川小学校	これからの環境教育について	31
平成23年11月28日	城東小学校	冬の吉野川干潟の観察	100
平成23年11月29日	藍住町正法寺川	野鳥観察や水質調査等の川調	81
平成23年12月5日	吉野川河口土手	野鳥の観察	66
平成24年1月11日	羽浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	41
平成24年1月17日	忌部神社周辺	ネイチャーゲーム	28
平成24年1月25日	山瀬小学校	川の調査について	53
平成24年1月26日	ふれあいセンター立江前公園	野鳥の観察	67
平成24年1月26日	新野幼稚園	ネイチャーゲーム	19
平成24年2月15日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	41
平成24年2月15日	四国電力橋発電所	省エネについて	30
平成24年2月16日	羽ノ浦さくら保育園	ネイチャーゲーム	38
平成24年2月23日	新野幼稚園	ネイチャーゲーム	19
平成24年2月24日	総合教育センター	環境教育について	120
平成24年2月28日	坂野幼稚園	ネイチャーゲーム	19
平成24年2月29日	長生保育所	ネイチャーゲーム	20
平成24年3月12日	長生保育所	ネイチャーゲーム	20
平成24年3月27日	土成小学校	ビオトープについて	20

(9) ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取り組みについての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成23年度には15名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、4回派遣しました。(派遣状況は第2部1章1節27ページ表2-1-5)

(10) 環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民の皆様を対象とした「とくしま環境学講座」・「とくしま環境マイスター講座」を開講しました。(表2-4-5)

表2-4-5 平成23年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成23年6月8日～7月6日	とくしま環境学講座Ⅰ「エネルギーと環境について考えよう」	13名
平成23年9月17日～10月8日	とくしま環境学講座Ⅱ「環境問題を考えよう」	17名
平成23年10月22日・28日	とくしま環境マイスター講座「環境教育の進め方」ほか	6名

2 環境月間・3R推進月間

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、5月30日の「ごみゼロの日」に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しました。関係機関や団体、事業所、学校に清掃活動を呼びかけ、環境美化意識の向上を図りました。

(2) 「レジ袋ゼロの日」の推進

循環型社会の形成を推進するため、消費者に「レジ袋を配布しない取組」小松島市「レジ袋ゼロの日」社会実験を平成23年10月15日に小松島市内で実施し、来店者数、マイバッグ持参者数等を調査し、効果判定を行いました。

3 瀬戸内海環境保全月間

瀬戸内海の環境保全思想の普及、意識の高揚を図るため沿岸府県市において昭和48年度から毎年6月を環境保全月間と定め、講習会の開催、広報用印刷物の作成配布等各種普及活動事業を実施しています。

本県における、平成23年度瀬戸内海環境保全月間（6月1日～6月30日）の実施状況は次のとおりです。

(1) 啓発用ポスターの配布・掲示

瀬戸内海環境保全協作成の環境保全啓発用ポスターを各種団体、事業場等に配布・掲示しました。

(2) 工場再点検

環境月間に合わせ、工場・事業場の立入検査を実施するとともに、瀬戸内海地域内の事業場、協定工場による排水処理施設の整備状況等について自主点検の実施を推進しました。

(3) 海辺の教室

瀬戸内海環境保全協会、徳島県漁業協同組合連合会、小松島市、和田島漁業協同組合の協力を得て、和田島小学校（小松島市）の299名を対象に海辺の教室を開催しました。

4 河川愛護思想の普及（水生生物による水質調査）

身近な河川の水質を知るとともに、河川の水質保全の必要性を認識してもらうこと及び水質環境の基礎的情報を得ることを目的として国土交通省では昭和59年度から、県では昭和60年度から、徳島市では昭和61年度から、小・中学生等一般市民の参加を得て水生生物による水質調査を実施しています。

平成23年度は、河川愛護月間（7月1日～7月31日）等において、国土交通省では県下の主要一級河川である穴吹川等で、県では県下の小・中学生等へ呼びかけ勝浦川等21河川で調査が行われました。

表2-4-6 水生生物調査実施状況

区 分	年 度	河 川 数	地 点 数	参加団体数	参加人員
国 土 交 通 省	H14	3	6	17	368
	15	3	6	17	306
	16	3	7	17	471
	17	3	4	11	304
	18	2	3	3	128
	19	3	8	10	223
	20	4	9	11	522
	21	2	2	2	115
	22	3	5	8	132
	23	2	4	8	132
県	H14	30	94	41	1,087
	15	27	73	32	935
	16	24	52	33	854
	17	19	39	30	895
	18	30	47	33	1,055
	19	28	48	30	664
	20	32	57	39	1,172
	21	25	44	30	827
	22	20	30	16	438
	23	21	27	18	471

5 今後の取り組みの方向性

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、こどもエコクラブ事業などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。